

2010年4月30日

ご参考資料

Follow  
Up  
Memo

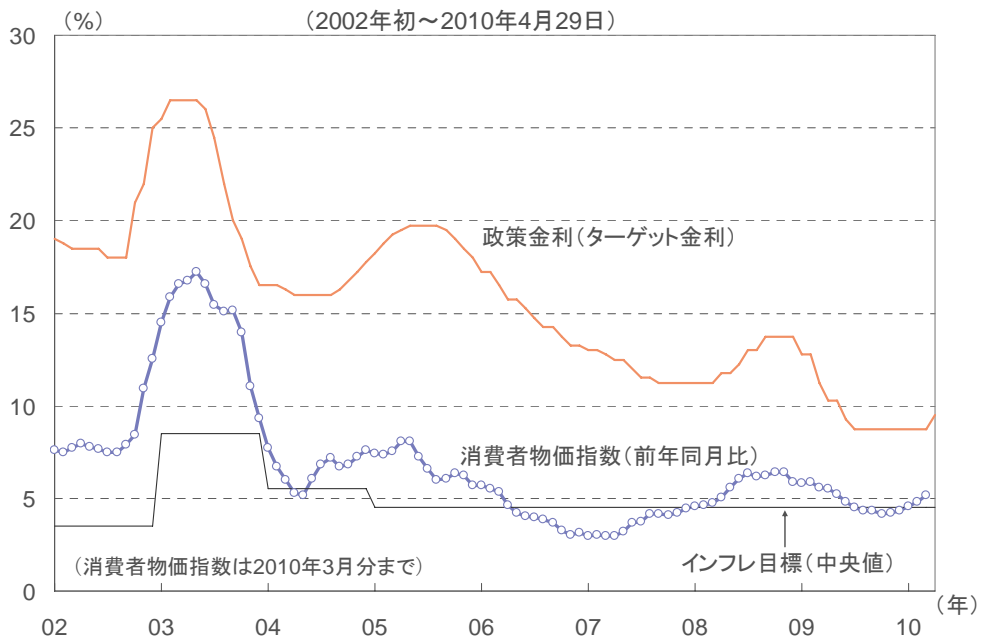
## ブラジルの利上げについて

フォローアップメモ

nikko am  
fund academy

ブラジル中央銀行は28日、政策金利を0.75%ポイント引き上げることを金融政策委員会で決定したと、株式市場の引け後に発表しました。昨年7月に過去最低水準となる8.75%に引き下げて以来、据え置かれてきた政策金利は、9.5%となりました。なお、今回の利上げは2008年9月以来、1年7ヵ月ぶりのものですが、29日のブラジル株式市場は前日比1.9%高となりました。また、ブラジル・レアルは対円で同1.2%上昇しました。

## ブラジルの政策金利と消費者物価指数の推移



今回の利上げは、その幅が市場予想の中心(0.5%ポイント)をやや上回ったものの、弊社ではポジティブなものであると考えています。なぜなら、ブラジル中央銀行が先月、市場の利上げ予想に反して政策金利を据え置いたために、金融政策が後手に回るのではないかと懸念が高まりつつあったからです。しかし、今回、全会一致で0.75%ポイントの利上げが決定されたことは、同中央銀行が引き続きインフレ抑制を重視しており、今後も物価上昇に対して予防的な引き締めを行なっていく可能性を示唆するものであると考えられます。

年内の追加利上げに関する市場見通しは2~4%ポイント程度と、開きがある状況です。ブラジル中央銀行は、今後の金融政策の方向性を示していませんが、来週公表される議事録で何らかの手がかりが得られるかもしれません。同中央銀行が、上昇している市場のインフレ予想に注目していることは明らかです。今年3月の消費者物価指数は前年同月比5.17%と、ここ10ヵ月で最も高く、また、政府のインフレ目標(中央

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

値)である4.5%を上回っています。こうしたなか、ブラジルの景気がかなり力強いものとなっていることから、今後、物価上昇が懸念材料となる可能性があります。ただし、かつてハイパー・インフレによってひどい経験をした歴史がある同国では、中央銀行が近年、インフレを上手く抑えてきた実績を国民が高く評価しています。



今回の利上げがブラジル市場に与える影響は、全体的に見てプラスであると考えています。昨秋に導入された資本規制がブラジル・レアルの上昇を抑えてきましたが、金利の上昇は通貨の押し上げ要因となることでしょう。

なお、世界的な景気後退からの脱却を先導した新興国は現在、総じて金融引き締め方向にあります。これに伴ない、新興国では、超低金利が続く主要先進国などからの資金流入が物価上昇圧力や資産バブルにつながるリスクがあります。こうした流れが続く限り、投機的な資金流入を阻止するために、新興国が資本規制にますます頼るようになる可能性があります。

株式市場は通常、金利の上昇からマイナスの影響を受けますが、ブラジルの足元での利上げはインフレ予想の抑制につながり、長期的には株式市場にとってプラスの影響を及ぼす可能性が高いと考えられます。また、利上げの開始が物価上昇の動きに遅れをとれば、最終的な引き締め幅が大きくなる恐れがあることを考えると、ブラジルの株式市場はまだ利上げが行われていない他の新興国の株式市場よりも恵まれていると言えるかもしれません。ただし、今後の利上げペースが遅すぎたり、利上げが行き過ぎれば、その悪影響が及ぶのはブラジルの株式市場にとどまらず、先進国の市場にも及ぶ可能性があるだけに、今後のブラジルの金融政策の行方に引き続き注意が必要です。

以上

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。